

第208回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成25年7月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,593	-1.21	-0.24	4,112	-0.31	-0.14
東部地区	14,262	-1.18	0.00	5,703	-0.92	-0.07
西部地区	10,406	-1.44	-0.01	3,988	-0.34	0.07
駅南地区	6,330	-1.10	0.06	2,760	-0.82	0.14
半田地区	3,701	0.95	0.18	1,400	0.50	-0.14
横山地区	5,599	-1.82	-0.03	1,934	-1.22	-0.20
茨目・田尻地区	7,008	-0.05	-0.11	2,456	1.90	0.04
荒浜地区	5,039	-0.96	-0.01	2,014	-0.69	-0.04
その他地区	19,631	-1.98	-0.13	7,149	-0.41	-0.08
西山町地区	6,073	-1.61	-0.11	2,141	-0.69	0.00
高柳町地区	1,717	-4.07	-0.57	796	-2.68	-0.50
柏崎市計	89,359	-1.33	-0.07	34,453	-0.44	-0.05
刈羽村	4,820	-0.94	-0.26	1,570	-0.12	-0.44
小国地区（長岡市）	5,987	-1.67	0.03	2,135	-0.04	0.14
出雲崎町	4,902	-2.05	-0.24	1,782	-1.27	-0.27
合計	105,068	-1.36	-0.08	39,940	-0.45	-0.07

（資料出所：柏崎市、各市町村）

人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,205人、1.33%、刈羽村で46人、0.94%、小国地区（長岡市）で、102人、1.67%、出雲崎町で103人、2.05%とそれぞれ減少しており、全体では1,456人、1.36%の減少となっている。また、前月比においては、小国地区で2人、0.03%の増加となったものの、柏崎市で71人、0.07%、刈羽村で13人、0.26%、出雲崎町で12人、0.24%減少しており、全体では94人、0.08%減少している。一方、世帯数は、前年同月比では、柏崎市で155世帯、0.44%、刈羽村で2世帯、0.12%、小国地区で1世帯、0.04%、出雲崎町で23世帯、1.27%減少したことから、全体では181世帯、0.45%の減少となった。また、前月比においては、小国地区で3世帯、0.14%増加しているが、柏崎市で19世帯、0.05%、刈羽村で7世帯、0.44%、出雲崎町で5世帯、0.27%減少した結果、全体では28世帯、0.07%減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,495		9.04		6.40	
月間有効求職者	1,932		-0.92		-2.42	
月間有効求人倍率	0.77	0.95	0.07*	0.10*	0.06*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,495人と前年同月比で124人、9.04%の増加となり、前月比でも90人、6.40%増加している。

月間有効求職者数は、1,932人と前年同月比で18人、0.92%減少し、前月比でも48人、2.42%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.77倍と前年同月比で0.07ポイント上回り、前月比でも0.06ポイント上回っている。なお、県平均0.95倍と比べると0.18ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が623人と前年同月比で72人、13.06%増加し、月間新規求職者数が498人と前年同月比で35人、7.56%増加した結果、月間新規求人倍率は1.25倍となり、前年同月の1.19倍に比べて0.06ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	37	-2	2	160	23
共 同 住 宅	0	-2	-1	6	-11
事 務 所	2	2	2	4	1
作 業 所・工 場	1	1	1	2	0
営 業 建 物	1	-2	-3	8	0
公 共 建 物	0	0	-2	2	1
そ の 他	13	3	4	49	-16
合 計	54	0	3	231	-2

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が54件と前年同月比で増減なしとなり、前月比では3件の増加となっている。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比2件の減少となり前月比では2件増加している。共同住宅は前年同月比で2件減少しており、前月比では1件減少となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が46件となっており、また一般住宅(併用)37件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が13件(うち新築11件)、市外施工業者が24件(うち新築23件)となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,542	0.15	0.11	16,418	6.72	12.31
電 力	10,046	-2.89	-0.15	41,631	1.19	11.82

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で104口、0.15%増加し、前月比でも、75口、0.11%増加している。一方、電力においては、前年同月比で299口、2.89%減少し、前月比でも16口、0.15%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で1,034kwh、6.72%増加し、前月比でも、1,800kwh、12.31%増加している。一方、電力においては、前年同月比で490kwh、1.19%増加し、前月比では、4,402kwh、11.82%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	722,382	-12.35	-27.42	706,035	4.70	-5.23
営 業 用	220,377	1.42	16.42	121,124	4.08	0.12
工 業 用	854,972	6.52	17.82	121,693	-11.49	6.31
官 公 学 校 用	344,920	6.38	44.37	97,787	9.73	9.98
そ の 他				272	82.55	-29.53
合 計	2,142,651	-1.18	-0.30	1,046,911	2.89	-2.13

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で25,718m³、1.18%減少し、前月比でも6,550m³、0.30%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比とも、家庭用で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で29,448m³、2.89%増加し、前月比では、2,873m³、2.13%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では工業用を除く用途で増加、前月比では、家庭用、その他を除く用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	95,730	-8.78	11.16	101,281	-8.37	12.48
西 山	45,267	-3.36	10.25	42,366	-4.60	12.49
米 山	26,075	-4.28	24.16	24,714	-2.67	27.60
合 計	167,072	-6.67	12.75	168,361	-6.64	14.47

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で11,958台、6.67%減少しており、前月比では18,899台、12.75%増加している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で11,983台、6.64%減少し、前月比では、21,293台、14.47%増加している。

インター別で見ると、前年同月比では、すべてのインターの入口・出口で減少しており、前月比では、すべてのインターの入口・出口で増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	364,089	1.26	-1.36	144,932	-0.71	-1.17
平 残	366,007	-0.05	-0.09	144,545	-0.47	0.02

預金は、末残が前年同月比で4,544百万円、1.26%増加し、前月比では、5,047百万円、1.36%減少している。また、平残においては、前年同月比で210百万円、0.05%減少し、前月比では、362百万円、0.09%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,037百万円、0.71%の減少となり、前月比でも1,726百万円、1.17%減少している。平残においては、前年同月比で693百万円、0.47%の減少となり、前月比では、43百万円、0.02%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	31,661	-4.27	49.11
交 換 金 額	23,760	-6.65	69.41
不 渡 り 手 形 枚 数	35	12.90	1,650.00
不 渡 り 手 形 金 額	14	16.78	586.79

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,415枚、4.27%減少し、前月比では10,429枚、49.11%増加している。また、交換金額においては前年同月比で1,695百万円、6.65%減少しており、前月比では9,735百万円、69.41%増加している。なお、不渡手形は35枚、14百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、9件（前年同月10件、前月2件）、負債総額24億円（同17億円、同4億円）となっており、地区別では下越地区で4件（新潟市1件、阿賀野市1件）、中越地区で2件（三条市1件、長岡市1件）発生し、上越地区で3件（上越市2件、妙高市1件）発生している。業種別は、製造業が2件、卸売業が1件、小売業が1件、サービス業が2件、運輸・通信が3件となっており、倒産原因別の状況については、販売不振が2件、業界不振が2件、売掛金回収難が2件となっている。件数、負債総額ともに前月比大幅に増加し倒産件数は2013年最多となったが、負債額10億円以上の大型倒産は発生していない。

景気は改善傾向にあるものの、足元の業績回復を実感していない企業は多く、依然として先行きに対する不安要素が残っている。